



## 100才まで元気に

**南**花台地区福祉委員会と南花台公民館は11月11日（日）、同公民館で地域医療学習会を開催しました。地域医療学習会は4年前に地域の医師と「健康についての講演でコミュニケーションをとりたい」という住民の要望で始まりました。今までに内科、外科、歯科、眼科、耳鼻科などの医師から病気の予防や健康の維持等の話を聞きました。

12回目の今回は、市役所いきいき高齢福祉課の職員と中部地域包括支援センターの保健師と看護師が「自分で始める介護予防」～いつまでも自分で歩けるからだを目指して～をテーマに話し、同地区民生委員・児童委員5人を含む86人が熱心に聞きました。日頃から手足を使ったり考えたりする時の脳の刺激や料理が認知機能の向上に役立つことや、誤嚥性肺炎を防ぐ口からはじめる健康作りを教わりました。

## 天見小・クリスマス会

**天**見小・クリスマス会が12月1日（土）、同小学校体育館で開催されました。児童、保護者、地域住民の総勢約250人が参加して、天見地区民生委員・児童委員6人もお餅つきで協力しました。

オープニングに、東中学校吹奏楽部40人がサンタクロースの衣装でクリスマスソングの演奏や担当楽器の紹介をしました。参加者は、AとBの2チームに分かれ、バルーンアートと餅つきを楽しみ、最後にぜんざいを食べて終了しました。



## 美濃うだつと女城主の里

—— 日市地区民生委員・児童委員 15人は12月  
—— 6日（木）と7日（金）、親睦を兼ねて美濃路  
—— を訪れ美濃文化に触れました。

1日目に美濃うだつの町を見学しました。「うだつ」とは屋根の両端を一段高くして火災の類焼を防ぐために造られた防火壁です。裕福な家にしかうだつを造ることが出来なかったため「うだつを上げる・うだつが上がらない」の言葉はここから生まれました。徳島県脇町のうだつが有名ですが、美濃市も江戸時代の商人の町でこのうだつが多く残っています。

2日目岩村城下を訪れました。岩村城は大和高取城（奈良県）備中松山城（岡山県）と並び日本三大山城の一つで、残念ながら現在は見事な石垣しか残っていません。戦国時代末期、織田信長の叔母おつやが夫の病没後養子の御坊丸がまだ幼少であったため当主の座を引き継ぎ岩村城主となり城・領地・民・家臣を守りました。岩村城下本通りは商家の町並みとして国の重要伝統的建造物保存地区に選定され「女城主おつやの方」にちなみ家々にかかげられている暖簾には家族の女性の名前が記されています。最後に「中山道広重美術館」を見学し円熟期の広重が中山道を描いた浮世絵版画を鑑賞しました。



## 全体研修のお知らせ

日時：1月29日（火）午前10時～11時40分

場所：市民交流センターキックス4階イベントホール

内容：「救護施設概要と施設が担う困窮者支援」「生活困窮者自立支援法について」他